

ミク口経済学2

火・金曜日 3・4 (10:30~12:00)

法・経255

授業の目標

- ミクロ経済学1と同様に
 - 経済現象を個別主体の行動から分析するミクロ経済学の基礎を理解する。
 - 経済のモデル分析ができるようになる。
 - 問題が解けるようになる。

講義内容

- 主体的均衡の理論を前提に
- 完全競争市場の一般均衡の吟味
- 資源配分の効率性
- 不完全競争市場の分析
- 不確実性

授業計画

- イントロダクション
- 競争経済の均衡 1回
- 経済厚生 2回
- 公共経済学 4回
- 不完全競争 5回
- 不確実性 2回

教科書・参考書

武隈慎一著

「新版ミクロ経済学」

新世社(サイエンス社)

ISBN:978-4883842391

武隈慎一著

「演習ミクロ経済学」

新世社(サイエンス社)

ISBN:978-4883842490

4 競争経済の均衡

4.1 市場均衡

4.2 市場調整

4.3 交換経済における競争均衡

4.4 生産経済における競争均衡

5 経済厚生

5.1 資源配分の効率性

5.2 厚生経済学の基本定理

5.3 余剰分析

5.5 経済厚生基準

7 公共経済

7.1 消費者余剰と生産者余剰

7.3 市場における課税の効果

7.4 公共財

7.6 外部性

6 不完全競争

6.1 独占市場

6.2 クールノー均衡

6.3 シュタツケルベルク均衡

6.4 製品差別化と独占的競争

6.5 屈折需要曲線

6.6 差別価格

8 不確実性

8.2 危険に対する態度

8.3 保険と資産選択

授業計画に関する注意事項

- 一部教科書と順番が異なる
- 計画通りに進まないかもしれない
- 進捗状況に応じて、変更されるかもしれない
- カバーできないトピックスは試験範囲外

授業形式

- 講義形式
 - プロジェクターの画面を中心
- 講義の資料は

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/okochi/>

からダウンロードできる

成績評価の方法

- 小テストと期末テストの結果を総合して成績を評価する
- ウェイトは、小テスト20%、期末テスト80%

小テストについて

- 授業で解説した問題
- 教科書の例題・練習問題
- 授業の理解の程度を測るもの

期末試験について

- 試験範囲は、授業でカバーしたところすべて
- 適語記入、正誤判定、計算・論述問題を含む総合問題

履修する学生に期待すること

- 質問をしてほしい
 - わからないことをそのままにしない
 - 小テストに質問を書いても可
- ノートをとることに集中しすぎないようにしてほしい
 - 理解のポイントは話しの中にあるかもしれない
- 予習をしてほしい
 - 授業前に教科書をさっと読むだけでも何の話なのか分かる

履修上の注意

- 機器のトラブルの可能性があるので、突然休講になることがあるかもしれないが、許してほしい
- 私語は迷惑するので、やめてほしい
- 携帯電話は鳴らさないでほしい
- 途中入室や退出は、周りに迷惑がかからないようこっそりとしてほしい。